

シンポジウム 1

「GERD の診断・病態・治療の新展開」

司会 春日井 邦夫（愛知医科大学消化管内科）

飯島 克則（秋田大学消化器内科）

2021年にGERD診療ガイドラインが改訂され、今後解決すべき課題も明らかになってきた。診断、病態に関しては、24時間インピーダンス-pHモニタリング、高解像度マノメトリー、生検検体を用いた解析などにより病態解明が進んでいる。また、治療では、PPIやPCABで治療効果がみられる症例での投薬量や長期投与の問題、PPIやPCAB抵抗性GERDに対する治療戦略などが課題であろう。本セッションでは、GERDに関連した新しい研究成果を募集する。